

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2022-008
2.研究課題名	自閉スペクトラム症者の対人コミュニケーションにおける 終助詞使用の実態を解明する実験研究
3.研究期間	令和4年 2月（倫理委員会承認後）～ 令和8年 3月31日
4.研究の概要	意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての確に記すこと。） 自閉スペクトラム症（autism spectrum disorder, ASD）者は双方向的な社会的コミュニケーションにおける言語運用に非典型的なパターンを見せることが知られており、とくに間接的な意図の理解、聞き手との対人関係に応じた言葉の使い分けが非典型的であるといわれる。そうした ASD 者の言語運用上の非典型的な特徴を定量的に検討した知見は、欧米言語においては数多く蓄積されているが、日本語の実証的な研究はまだ少ない。そこで本研究課題は、日本語を母語とする成人 ASD 者の言語運用の実態について、定型発達（typical developed, TD）者との違い、成人 ASD 者間の個人差・下位分類についての定量的なデータに基づくエビデンスを提出することで、ASD 者の言語使用について新たな知見を提供することを目的とする。なお、ASD 者のデータ取得は、共同研究先の施設で実施し、当該施設の倫理審査を受審する。 方法（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと） 20～50代の日常生活に支障のない日本語母語話者を対象とする。①間接的な意図理解のプロセスを検討する反応時間パラダイムによる会話理解課題、②状況に応じて言葉の使い分け方を検討する口頭の質問調査を行い、あわせて③個人の認知・感情・性格特性を確かめる種々の神経心理検査を実施する。参加者には、謝礼として時給 1,000 円を支払う。 問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと） 東北大学大学院文学研究科言語学研究室（022-795-5983） 東北大学川内南地区「人を対象とした医学系研究」 倫理審査委員会事務局（022-795-6103）

（紙面が不足するときには、罫線の縦幅を任意に増やし、次頁送りにしてください。）